

地域が主役の公園経営

～持続可能な地域づくりを目指して～



NPOフュージョン長池

小林 健人

NPOフュージョン長池の法人概要

法人設立 1999年 12月

事業目的：暮らしの支援事業



初代理事長： 富永一夫



現理事長： 田所喬

正職員 7

従業員数
(2020年1月)

パート23人

正職員は、22歳～41歳。
創業世代から後継世代へ、
世代交代を実現している。
創業世代は、未来へ投資し、
後継世代を支える。

多摩ニュータウンの位置



八王子市東部地域



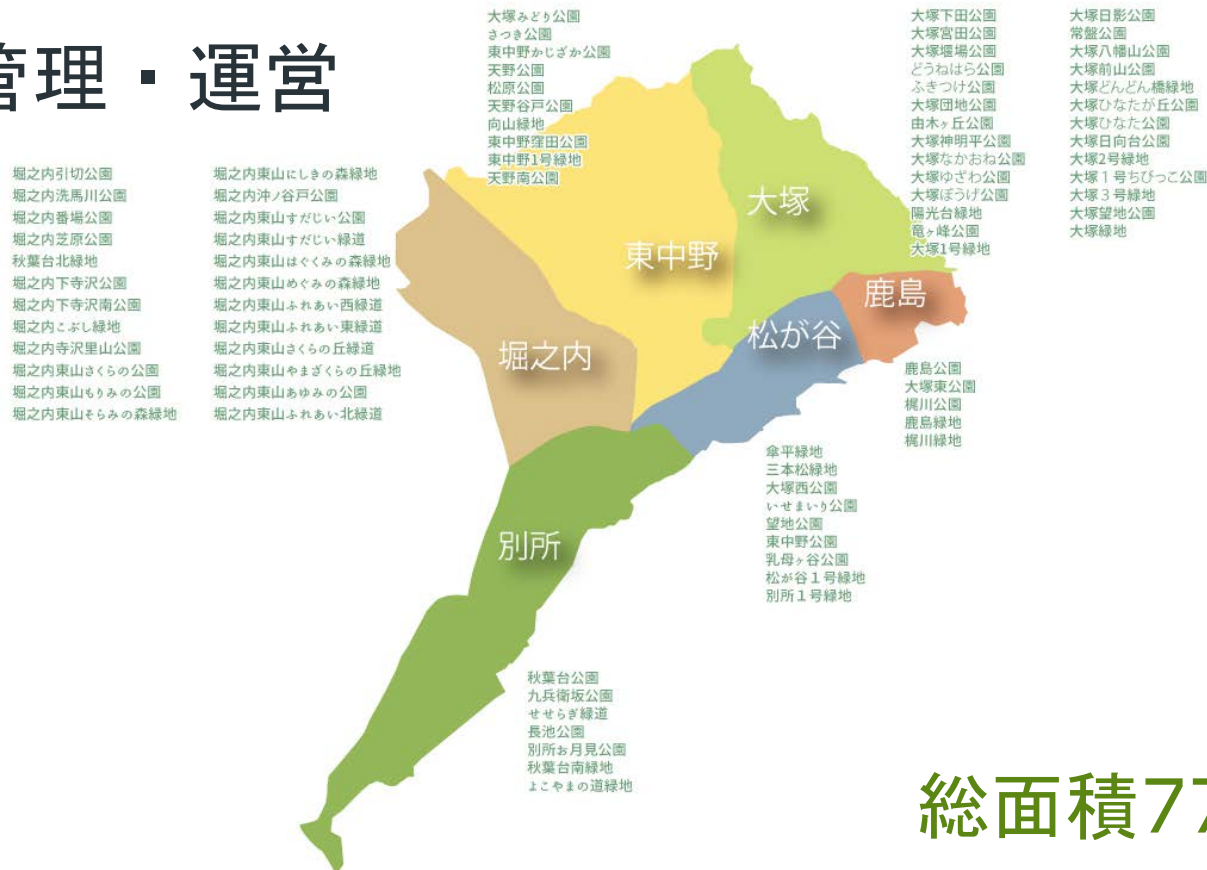
八王子市：面積186.3km²、人口58万人

八王子市東部地域は、1964年まで由木村と呼ばれ、同年、八王子市に合併。1965年から多摩ニュータウン開発が始まり、9割が多摩ニュータウン開発地域。ニュータウン開発前からの住民と開発後に入居した住民で街が構成されている。

八王子市都市公園指定管理者 ひとまちみどり由木

八王子市東由木地区公園81箇所の

公園緑地の管理・運営



総面積77ha

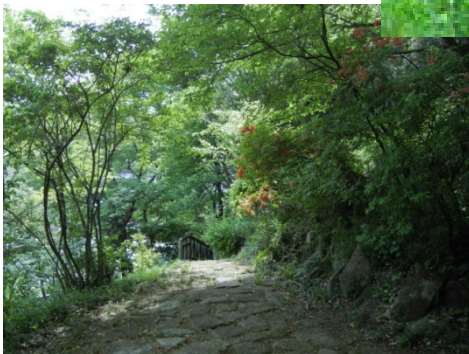
八王子市都市公園指定管理者 ひとまちみどり由木 構成団体

- 代表団体：NPOフュージョン長池
- 構成団体：(株)桂造園（造園業）
(株)斎藤造園（造園業）
(株)日本タスクス（電気工事）



多様な公園・緑地

街区公園45箇所・近隣公園7箇所・総合公園1箇所・都市緑地27箇所・緑道1箇所



多様なステークホルダー

町会
自治会
63団体

保育園
幼稚園
12園

小学校
中学校
10校

学童
9ヶ所
児童館
1ヶ所

高校1校

企業
福祉団体
など多数

大学4校

公園
アドプト団体
19団体

八王子市都市公園指定管理者 ひとまちみどり由木 公園経営のコンセプト

**81カ所の公園・緑地の魅力や価値を
最大限に引き出し、
『ひと』も『まち』も『みどり』も輝く、
持続可能な地域づくりに貢献する。**

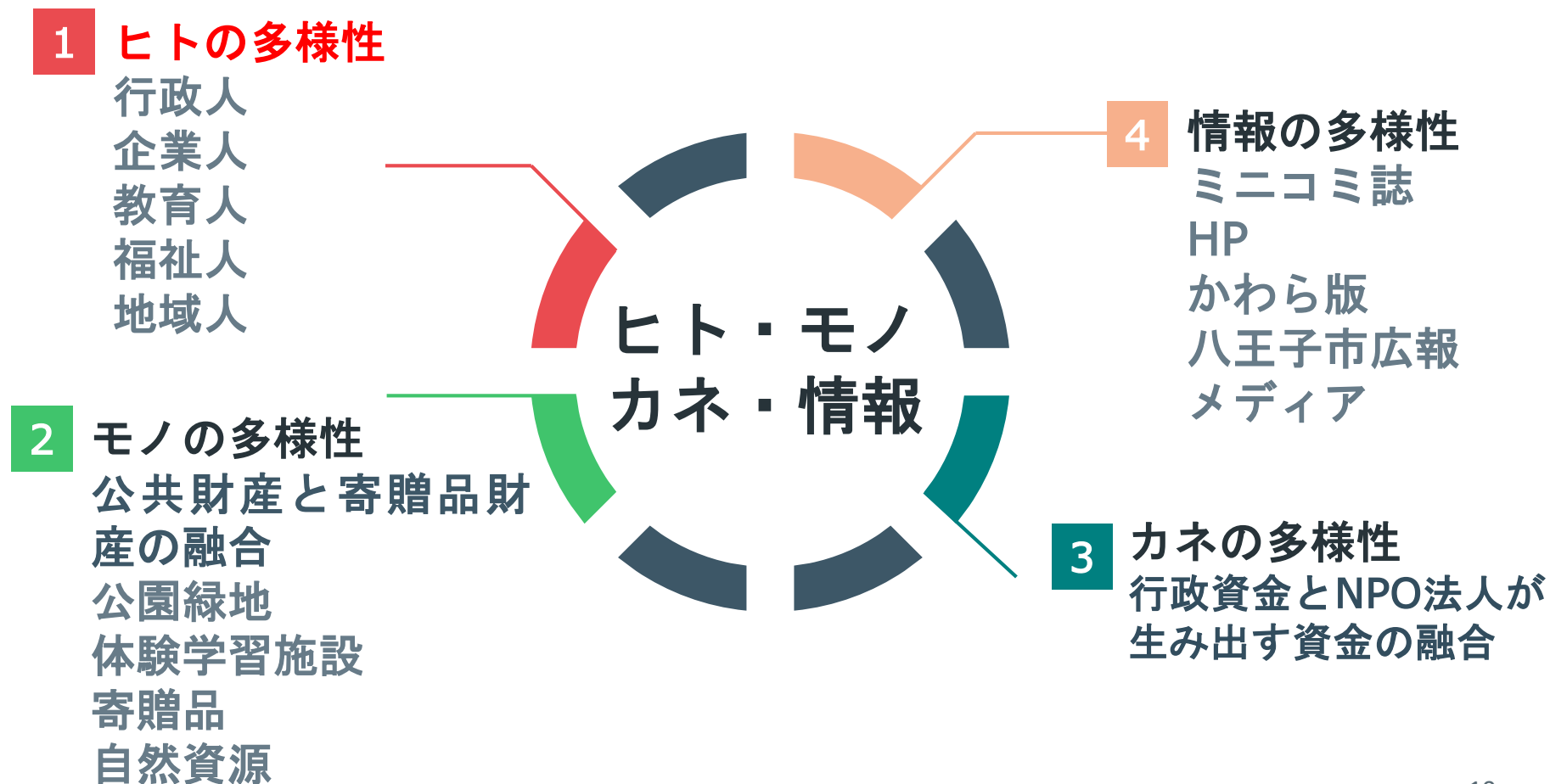
- 地域みんなで“地域融合型”の公園経営
- 潜在的な地域資源を融合した公園経営



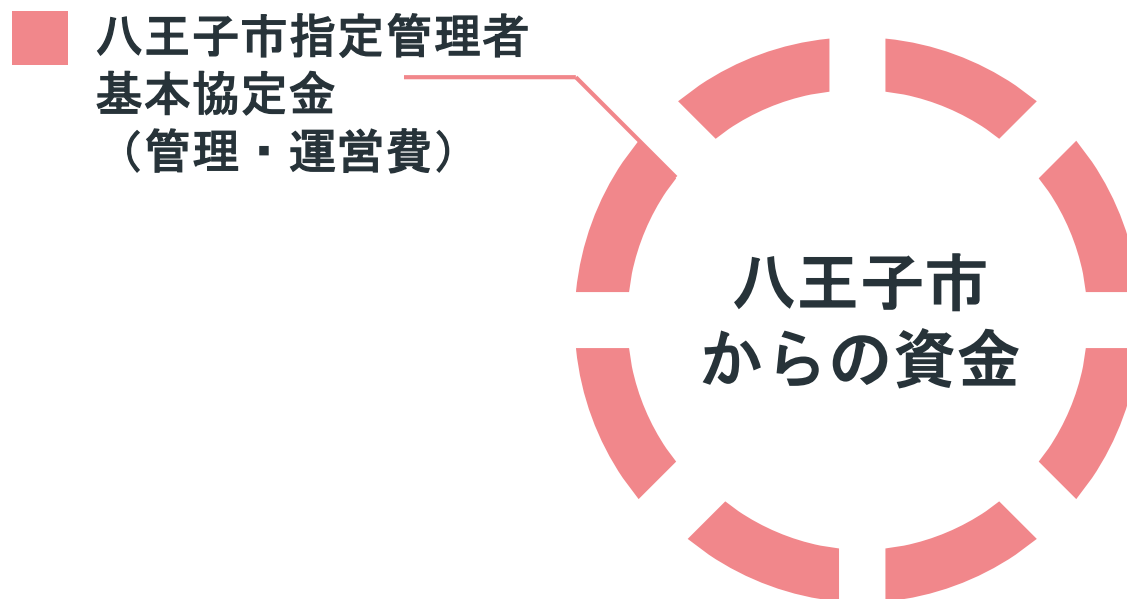
地域が主役の公園経営

地域と公園が融合する経営の4資源

ひとまちみどり由木の経営を持続可能にする多様性



地域と公園が融合する経営資源「多様な力ネ」



地域と公園が融合する経営資源「多様なカネ」

1 広報誌への広告掲載料

2 ホームページの広告掲載料

3 福祉作業所の
製品の展示・即売手数料

NPOフュージョン長池が
生み出す資金



4 自動販売機
ジブリグッズの
販売手数料

5 活動支援金（寄付金）

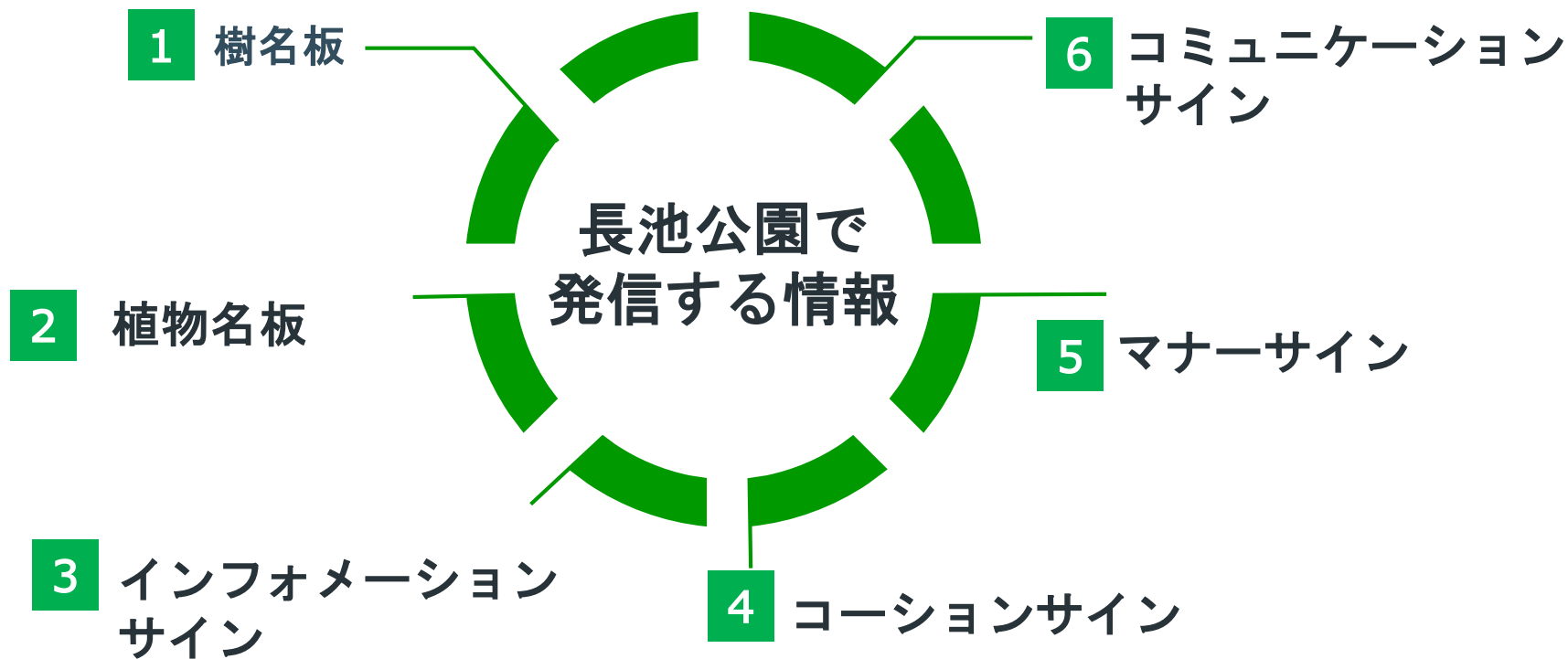
6 民間助成金、国や公
益法人からの助成金

7 研修受託費

地域と公園が融合する経営資源「多様な情報」



情報発信力が情報受力を育てる「多様な情報」



地域と公園が融合する経営資源「多様なヒト」

「多様なヒト」がどうやって**主役**になって
公園にかかわるの？

1 ボランティア団体、
公園アドプト団体、
町会・自治会
福祉団体との融合

2 保・幼・小・中・学童・
児童館との融合

4 10万人との融合

地域人
福祉人
教育人
企業人

3 大学・社会人・
企業との融合

一人からボランティア団体、福祉団体との融合

一人一人が**主役**

生きがい就労

定年退職した地域の方々が、今までの経験や知識を活かし公園の管理に携わり、個人の生きがいに。きめ細かな作業と地域住民とのコミュニケーションに長けている。緑地管理費の削減にも繋がっている。

例) 竹林管理や緑地管理（除草・樹木の剪定など）、軽微な修繕（ベンチ補修など）で活躍。楽しみながら作業し、地域住民同士の繋がりも生まれている。また、主体的な公園への興味にも広がりを見せている。



例) 水道工事の経験がある方が、公園の水道を修理。地域住民の直接雇用で、即かけつけ、対応が早い。水道知識について、スタッフへのレクチャーもあり、人材育成にも繋がっている。

一人からボランティア団体、福祉団体との融合

一人一人が**主役**

多様なボランティア制度

地域の方々が関われる多様なボランティアの場を用意。
一人からでも、その方の個性やできることに合わせたボランティアを。
緑地管理費の削減にも繋がっている。

サタデーパークボランティア

土曜日に、公園の里山保全活動を行う制度。

里山保全隊

月曜日に、公園の里山保全活動を行う制度。

わんちゃんパトロール隊

犬の散歩をしながら、公園の見回りをしていただく制度。

パークサポーター

お住まいの近くの公園の見回りをしていただく制度。

公園見守隊

NPOフュージョン長池が開発した、スマートフォンのアプリ「スマートアイ」を活用して、公園の不具合の報告や、季節の草花の情報を提供いただく制度（下記、例）。

公園で不具合（ゴミ散乱）を発見し、スマートパートナーアイで公園見守隊が撮影。公園本部が確認し、現地へ向かい、即日、清掃完了。



清掃



一人からボランティア団体、福祉団体との融合 ー公園アドプト団体が**主役**ー

公園清掃・除草、里山竹林管理、イベント共催

地域のコミュニティ形成を促進する。また、持続可能な活動とするため、NPO法人や地域の学童保育所の公園アドプト団体の登録を推進。
緑地管理費の削減にもつながっている。



一人からボランティア団体、福祉団体との融合 —町会・自治会が**主役**—

お祭り・防災訓練・ゲートボール・グラウンドゴルフ

高齢者の生涯スポーツ・健康増進に繋がっている。



一人からボランティア団体、福祉団体との融合 ーボランティア団体が**主役**ー

長池ぽんぽこ祭り

2018年で23回目を迎える。地域の団地の協議会が主催で開催。
毎年約5,000人の来場者がある。このお祭りで育った子供たちが
大人になって子どもを連れて来るようになり「ふるさと」に。



一人からボランティア団体、福祉団体との融合

—福祉団体が**主役**—

- 公園清掃・施設清掃
- 池清掃（外来種駆除）
- イベント手伝い
- **トイレのリニューアル**

八王子市

かたくりの会・ぷらさdeかたくり・ふきのとう

ひのき工房・もぐらはうす・グループさんぽ・由木
工房

町田市 花の家・町田ゆめ工房

多摩市 多摩草むらの会・若人塾



一人からボランティア団体、福祉団体との融合

ー福祉団体と企業が**主役**ー

トイレのリニューアル

民間企業と福祉団体の協働事業。民間企業がトイレの大規模な補修工事を実施。民間企業が福祉団体に壁塗りをレクチャーし、完成。

企業のCSRとともに、多様な団体の協働で、地域でお互いに「知る」きっかけに。



保・幼・小・中・学童・児童館との融合

— 保育園・幼稚園が**主役** —

- 毎日のお散歩
- 自然と遊ぶ
- お絵かき
- 遠足
- 運動会



保・幼・小・中・学童・児童館との融合

－小・中学校が**主役**－

- 遠足
- 落ち葉かき
- 自然観察
- インターンシップ
近隣中学校からの職場体験受け入れで、公園利用者のためのおもちゃ（竹の水でっぼう等）を作成。
- **ウォールペイント**



保・幼・小・中・学童・児童館との融合

—小・中学校が**主役**—

ウォールペイント

落書きが多かった公園の壁を、近隣の小学校の子どもたちが絵を描くことで、明るい雰囲気に変身。落書き消しは地域の福祉団体、背景画は公園管理者が描く協働事業。実施後、落書きは**ゼロ**になり、安心安全を創出。



保・幼・小・中・学童・児童館との融合

－小・中学校が**主役**－

中学生職場体験

社会教育活動の一環として、中学生の職場体験の受け入れも行う。ただのマンパワーとしてではなく、活動の意義を伝え、働くことの意味も感じて活動してもらっている。

トイレの「明るさUP！活動」（写真左）や環境保全活動（写真右）などに取り組む。



保・幼・小・中・学童・児童館との融合

—学童/児童館/地域の子供たちが**主役**—

- 樹名板製作と取り付け
- ザリガニ取り
外来生物駆除（右写真）
- パークキッズレンジャー
プロジェクト

近隣学童と協働で、
小学生が公園清掃等を実施。
定期的に活動を行い、レンジャーの資格を取得。
公園の愛着、見守りにつながる。

- 児童館子どもシティで“公園管理者”
- 学童ウォークラリーで“公園管理者”



保・幼・小・中・学童・児童館との融合

—学童/児童館/地域の子供たちが**主役**—

パークキッズレンジャープロジェクト

学童保育所が3年生までということで、4年生以上の子供たちの地域の居場所づくりとして、学童保育所と協働で、公園をより良い地域の居場所としていくプロジェクトを実施。また、公園清掃・生き物調査・イベント実施など多様な取り組みを行い、公園にかかわる地域の子供たちを、パークキッズレンジャーに認定し、育成する。



- インターンシップ
- 卒論・修論の作成(右写真)
- デジタルアーカイブ
- アルバイト
- 研修
- 美大が竹林管理。

樹木図鑑を使って
富士見台公園で
樹木観察をしよう！



水 金 日
学生は、
黄色い腕章をつけて
います！

大学の卒業研究で、公園内の樹木を調べました。
その結果を樹木図鑑にまとめましたので、
ぜひご覧ください。

樹木図鑑はご自由にお持ちください。
夏休みの自由研究にもどうぞ！

開催期間
8月1日(月)～8月31日(水) の 水、金、日曜日
11時～16時の間、学生が園内におります。ご質問ください！

玉川大学 農学部 生物環境システム学科
生態系科学領域 森林資源学ゼミ 4年
連絡先
協力：八王子市都市公園指定管理者 スマートパークス由木



大学・社会人・企業との融合

—大学が**主役**—

■ デジタルアーカイブズ

地域資源を活かして、大学生が様々なデジタルツールを作成。地域の魅力を画像で伝えるホームページの作成や地域クイズデジタルで楽しめるもの等、地域の再発見につながり、学生も地域に愛着を持ってもらえる。授業の単位となっている。



大学・社会人・企業との融合 —企業が**主役**—

- インターンシップ
- 環境保全活動
- 研修
- 研究
- 企業のCSR



大学・社会人・企業との融合

—企業が**主役**—

■ 姿池清掃 オール三菱ライオンズ（企業アメフトチーム）

長池公園にある姿池の清掃（年4回）を、長池公園に隣接する企業がCSR活動として支援。アメフトチーム100名による清掃活動は圧巻。大きな地域の力を頂いている。



大学・社会人・企業との融合 —企業が**主役**—

■ RockCorpsとのコラボレーション

音楽の力で、企業と地域社会と人々を結び付ける社会貢献プロジェクト。4時間のボランティアに参加すると、特別なライブイベント（セレブレーション）を体験できる。長池公園にて、剪定枝でコースター作成&希少種植物の植え替え等を実施。



ROCKCORPS
Give, Get Given
SUPPORTED BY JT



10万人との融合－10万人が**主役**－

<大栗川キャンドルリバー>

- 第1回 2015年2月14日実施

＊旧由木村が八王子市へ合併50周年記念

＊公園・夢プラン大賞：最優秀賞受賞

- 第2回 2016年10月22日実施

- 第3回 2017年10月14日実施

＊全国都市緑化はちおうじフェア由木地区 最終夜

- 第4回 2018年10月7日実施（予定）



10万人との融合ー10万人が**主役**ー

大栗川キャンドルリバー ～新旧住民が協働～

地域の方々に結成された団体・公園管理者など、多様な団体や個人で協力して開催。近隣小学校や学童の子どもたちが、Candle（キャンドル）を灯す紙コップに絵を描き、「3万個のCandle（キャンドル）」を地域に灯した。緑道と公園を舞台にした、地域住民同士の交流の場づくり。2016年は、3万5000個以上のキャンドル、約580名のボランティアと共に実施。2017年は、八王子市都市緑化フェアとの共催で実施した。



10万人との融合－10万人が**主役**－

平成28年度総務省ふるさとづくり大賞

団体表彰（総務大臣表彰）受賞（平成29年1月）

活動する地域は、市外から転入してきた新住民が多く、他の地域に比べ住民のつながりが希薄と言われてきたが、など、独自の先進的な取り組みを実施。公園という誰で**多様な団体との協働、市民参加による公園管理の仕組み・地域づくり**もいつでも行ける場所を地域づくりの拠点とし、ニュータウンにおけるつながりの場を提供している。

また、次世代への継承も評価できる（講評より）

